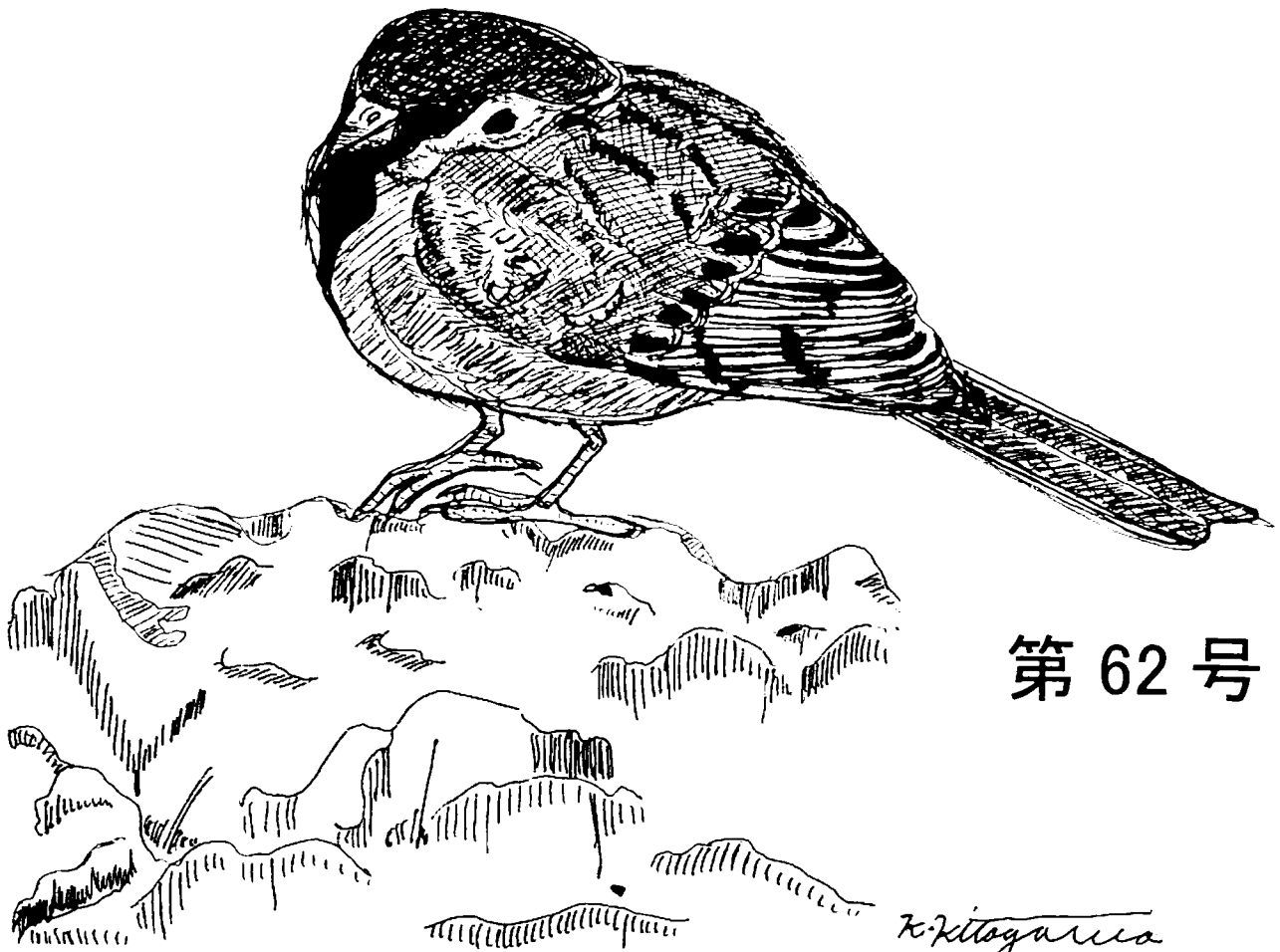


しろちどり



第 62 号

2009 年 11 月 日本野鳥の会 三重県支部

http://www.geocities.jp/sirochidori_mie/

最新の鳥類学（日本鳥学会 2009 年に参加して）

編集部 近藤義孝

函館市（北海道大学水産学部で）

9月19日～22日（シルバーウィーク）に日本鳥学会 2009 年度大会が北海道函館市にある北海道大学水産学部を主な会場として開催されました。チュウヒに関する発表があることと、いろいろなお世話になった方にあえらと思ひ、この大会に参加しました。参加者は 391 名、鳥に関係する会議でこれだけの人を集めることができるのはこの会議だけのようです。

9月19日に時間があつたので、夜景で有名な函館山（334m）へ歩いて登りました。1時間ばかりで登れる山でしたが、シジュウカラなどのカラ類などを観察できました。（下写真、函館山より見た函館市）



学会での発表者は、大学や研究所に所属する人だけでなく、（財）日本野鳥の会会員も発表していました。

日程は、19日午後から各種委員会と自由集会、20日口頭発表とポスター発表・自由集会、21日口頭発表と自由集会、22日総会とシンポジウム。飛行機の予約が帰りは22日新千歳発の便しかとれず、総会やシンポジウムなどに参加できませんでした。

発表内容はDNAと衛星追跡など

口頭発表は2会場に分かれていて、12分発表・3分質疑の形で進められていました。私の参加した会場ではDNA解析を行っている発表が多くありました。渡りや越冬に関する発表、特に、衛星回線を使つての追跡調査などもたくさん発表されていました。

ここでも取り上げられる風力発電

三重県支部でも多くの問題があるとして取り組みを行っている風力発電については、（財）日本野鳥の会保護室の浦達也さんを中心とした自由集会有りました。この中で中津弘（なかつひろむ）さんは青山高原で2007年に調べた衝突死体探索の調査結果について発表されました。残念ながら、日程の関係でこの集会有参加できず、発表は聞けなかつたのですが、中津さんと夕飯を一緒に食べることができ、青山高原でのバードストライキングについて、話を聞くことができました。

チュウヒに関する発表

また、ポスター発表では、チュウヒに関する内容を中心に聞きました。「仏沼の繁殖期チュウヒにおける採餌環境としてのヨシ原と農地の利用率の違い」北里大学の境さんたちが発表していました。仏沼ではチュウヒの餌場として、ヨシ原だけでなく、農地も重要であるということでした。

また、「利根川下流域におけるチュウヒの繁殖状況および越冬状況」茨城県支部の池野さんたちの発表がありました。利根川では繁殖に成功したり、失敗したりしているそうです。

来年は東邦大学で

来年度は東邦大学で開催されます。千葉県習志野市で今回よりかなり近いので、興味のある方は是非参加して下さい。

帰りに勇払原野を観察

なお、帰りに北海道におけるチュウヒ繁殖地である勇払原野に行きたいことを（財）日本野鳥の会の浦さんに話したら、保護部長の葉山さんを通してウトナイ湖バードサンクチュアリーของทีมフレンジャー原田修さんに案内をしてもらうことになりました。

勇払原野は（財）日本野鳥の会も野鳥保護のために取り組み、「ウトナイ湖・勇払原野保全構想報告書」を作成しています。（次のページの写真は弁天沼）



表紙の言葉

北川和則 (多気町)

雀は最近、数が減ったような気がします。
 みなさんの所はどうですか？
 見なれた雀ですけど、書くのはむずかしかったです。
 今一度、雀を観察するのもいいのでは。

目次

最新の鳥類学	1
表紙の言葉	2
目次	2
野鳥記録	3
事務局だより	4
理事会報告	4
探鳥会報告	5
しろちどり原稿募集	7
チュウヒサミット 2010 開催決定	7
臨時探鳥会のご案内	8
湖北パスタア-案内	9
編集後記	9

取扱商品

フィールドスコープ
 双眼鏡(小型・大型)
 天体望遠鏡
 カメラ(新品・中古)
 その他光学製品各種

取扱メーカー

KOWA・NIKON・FUJINON
 MIYAUCHI・VIXEN・PENTAX他

中部地区最大の光学製品専門店

TELESCOPE CENTER EYEBELL

テレスコープセンターアイベル (株式会社アイベル)
 〒514-0801 津市船頭町3412(メガネのマスダ2F) TEL 059-228-4119
 定休日/毎週水曜日 営業時間/10:00~19:00
 ホームページ <http://www.eyebell.com> メールアドレス eyebell@diamond.broba.cc

野鳥記録 (2009年6月～10月に報告のあったもの)

※表中の「報告者」は「初認者」ではない場合もあります。

種名	個体数	記録日	場所(通称など)	記録報告者	写真	備考
ケアシノスリ	1	2009/5/16	桑名市木曾岬干拓	安藤 宣朗	○	
セイタカシギ	3	2009/7/3	四日市市四日市港埋立地	安藤 宣朗	○	1
オシドリ	1	2009/7/5	松阪市三雲町	安達 直孝	○	
ハジロクロハラアジサシ	1	2009/7/7	松阪市五主町 豊出川河口	岡 八智子	×	
コヨシキリ	1	2009/7/11	松阪市愛宕川河口	中村 洋子	○	2
ウミネコ	3	2009/7/12	安濃川河口	安達 直孝	○	3
コヨシキリ	1	2009/7/18	松阪市愛宕川河口	西村 四郎	○	4
ケリ(繁殖情報)	1	2009/7/30	松阪市嬭野見永町地内	福井 勝	×	
サンバ	1	2009/8/3	経が峰頂上付近(津市美里町平木)	川口 久美	×	
コサメビタキ	5	2009/8/8	松阪市飯高町	西村 四郎	○	5
コアジサシ	4	2009/8/11	松阪市豊出川河口五主側	田中 洋子	○	6
カワウ(フラッグつき)	1	2009/8/15	津市安濃川河口沖州	宮越 和美	○	7
コサギ(捕食行動)	1	2009/9/18	三重県御浜町志原	中井 節二	○	8
ツルシギ	1	2009/9/18	三重県御浜町志原	中井 節二	○	9
ツメナガセキレイ	1	2009/9/20	三重県御浜町志原	中井 節二	○	10
エリマキシギ	1	2009/9/18	三重県御浜町志原	中井 節二	○	
エゾビタキ	1	2009/9/25	津市美杉「大洞山」山頂	川口 久美	×	11
ミヤコドリ	1	2009/9/29	伊勢市宮川河口右岸	世古口有司	×	
オオアジサシ	4	2009/10/10	楠の海岸沖(長太新町沖)定置網の	安達 直孝	○	
ジョウビタキ(初認)	1	2009/10/18	桑名郡木曾岬町大字白鷺	米倉 静	×	
クロサギ	1	2009/10/28	白塚町屋海岸白塚漁港近く	匿名	○	12

- 備考1 雄雌つがいとヒナ2、卵1。昨年の繁殖に続いて今年も繁殖が確認された。昨年とは繁殖場所が異なる。
- 備考2 7/23日まで観察。撮影・岡八智子
- 備考3 幼鳥。今シーズン初認
- 備考4 備考2の個体と同一か。3か所くらいのソングポストでさえずっていた。雄。
- 備考5 幼鳥。いつものフィールドでコサメビタキの繁殖(巣立ちヒナ)初めて確認しました。標高は800mくらいの林道で、ソウシチョウが良く囀っています。
- 備考6 別紙観察記録あり
- 備考7 カワウの標識付きを見つけました。添付した画像では読み取れませんが、左足に緑地に白字で220、右足にはピンクのリングがあるようでした。
(会員外の報告・会員紹介あり)
- 備考8 コサギの捕食行動。イチモンジセセリを2頭捕まえ食べた。
- 備考9 エリマキシギ♀と18日行動を、共にしていました。
- 備考10 浅い川原で鳥を見ていたらハクセキレイとともに飛んできた。20分位で飛んでいった。
- 備考11 頂上ではこのほか、渡り途中と思われるサンバ2羽が帆翔にて「高度稼ぎ」をしていた。
- 備考12 県中部以北ではクロサギの観察は珍しい。会員外の報告(記録担当註・会員紹介あり)

※「備考」は、特に注意のない限り、報告者のコメントから抜粋したものです。

観察記録募集！支部のHP http://www.geocities.jp/sirochidori_mie/index.htm から簡単に投稿できます。支部報に掲載できない記録もデータとして保存しています。ぜひご協力ください。

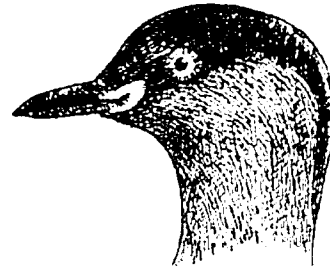
事務局だより

支部活動の記録（2009年8月～10月）

- 8/2 第2回理事会
- 8/11 支部報「しろちどり第61号」発行
- 8/28 国指定紀伊長島鳥獣保護区の指定計画について意見書を提出
- 9/3 平成21年度防ダム環境調査委託の完成検査
- 9/6 野生生物問題シンポジウムに参加（滋賀県）
- 9/6 風力発電についての意見聴取会に参加（松阪市）
- 10/5 違法飼養について行政・警察に協力
- 10/17 シンポジウム 湿地の生物多様性ーラムサール COP10 から CBD-COP10 へー
参加（名古屋市）

●今後の予定

- 11/14 支部報「しろちどり第62号」発行
- 11/15 第3回理事会
- 11/28 第17回野鳥密猟問題シンポジウム



理事会報告

第2回（2009年8月2日）

津市雲出市民センター 出席者9名

○名称改変問題

「日本野鳥の会三重」支部→本会 支部長→代表 副支部長→副代表

規約検討担当 中西2010年5月の総会までに理事会・HP・しろちどりで報告

○ラムサール問題

名前が未定（今後、検討していく 例：三重中勢海岸）

HPに、素晴らしい海岸であることのアピールのページを作る

漁協などに訴えていく（利益を共有できることを証明して）

アクションプランの作成（手続き方法についての研究）

ラムサール条約に関与した国内法の研究

看板について

三重県環境森林部や漁協などと連名で、看板を立てていったらどうか

すべての海岸にたてるとすると10枚程度必要 まずは、一カ所程度（五主海岸など）に設置

○バスハイク

行き先：湖北 会員限定（その日に入会も可） 12月12日（土）実施

ルート・時間設定は企画部長に依頼（9ページ参照）

○河川改修についての申し入れ

福井県支部の要望書を参考に三重県支部も作成していく

要望書の文案を作成

宮川の河川改修に伴う工事について

左岸工区の三角地の利用についてどのように要望していくか

遊歩道だけを作って、野鳥公園へ（広葉樹を植樹）

○チュウヒサミット2010

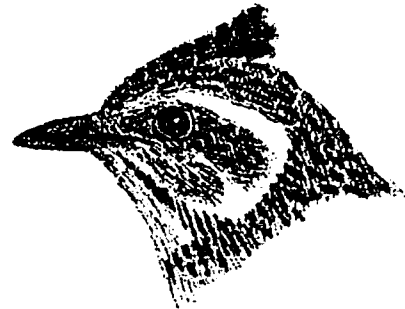
当初5月22日に計画、現在5月23日・29日で検討
だめなら9月以降（7月18日（日）に決定、8ページ参照）

○その他

会員・非会員からまとめた鳥のデータについて
データの出典がはっきりしていないものもある

○野鳥講座

今後検討していく
コアジサシの看板 毎年設置していく



探鳥会報告（09年7月～9月）

● 木曾岬干拓地探鳥会

2009年7月26日（日）9：00～12：00

弥富市 共催団体／愛知県野鳥保護連絡協議会
近藤 義孝 米倉 静 参加者9名（会員8名）
カワウ（100）、ダイサギ（2）、アオサギ（6）、カルガモ
（20）、コガモ（2）、ホシハジロ（1）、ミサゴ（3）、チュウヒ
（7）、キジ（2）、コチドリ（2）、ケリ（4）、クサシギ（2）、キジ
バト（5）、ヒバリ（10）、ツバメ（150）、ハクセキレイ（3）、
モズ（1）、セッカ（20）、ホオジロ（2）、カワラヒワ（16）、
スズメ（100）、ムクドリ（10）、ハシボソガラス（20）、ハ
シブトガラス（20）、ドバト（10）。計25種

すごい豪雨の翌朝、天気予報も雨のため、参加
者も少ない日だった。鳥は少なかったが、木曾岬
干拓地ではチュウヒの幼鳥が観察できた。

● ねぐら入り探鳥会

2009年8月22日（土）18：00～19：00

伊勢市外城田川河口

西村 泉 中西 章 参加者13名（会員13名）
カイツブリ、カワウ、ゴイサギ、ダイサギ、チュ
ウサギ、コサギ、アオサギ、カルガモ、トビ、ケ
リ、キアシシギ、イソシギ、ツバメ、ハクセキレイ
、モズ、セッカ、ホオジロ、スズメ、ムクドリ、
ハシボソガラス、ドバト。計21種

昨年、この探鳥会を7月に実施したが、メイン
のツバメが不調に終わった。そのため今年は8月
に予定した。当日、サギ類は多く飛んでくるのに
ツバメがなかなか飛ばずやきもきさせられたが、
日没30分前頃になって次々現れ、いつの間にか
河口の水面上がツバメだらけになった。夏の夕暮
れ一同から歓声が上がった。

● 木曾岬干拓地探鳥会

2009年8月23日（日）9：00～12：00

弥富市 共催／愛知県野鳥保護連絡協議会

近藤 義孝 米倉 静 参加者14名（会員10名）
カイツブリ（2）、カワウ（40）、ゴイサギ（5）、アマサギ
（1）、ダイサギ（15）、チュウサギ（1）、コサギ（5）、アオサ
ギ（7）、カルガモ（5）、コガモ（2）、ミサゴ（5）、チュウヒ
（4）、チョウゲンボウ（1）、キジ（1）、コチドリ（6）、ケリ
（1）、クサシギ（4）、キアシシギ（2）、イソシギ（11）、キジ
バト（6）、カワセミ（3）、ヒバリ（10）、ショウドウツバ
メ（50）、ツバメ（15）、ハクセキレイ（7）、セグロセキレイ
（1）、ヒヨドリ（2）、セッカ（15）、カワラヒワ（10）、ス
ズメ（50）、ムクドリ（6）、ハシボソガラス（10）、ハシブ
トガラス（20）、ドバト（10）。計34種

少し、秋のようなさわやかな風が吹く日だった。
木曾岬干拓地ではチュウヒ、鍋田干拓地でチョウ
ゲンボウが観察できた。

● 法花探鳥会

2009年9月6日（日）10：00～12：00

伊賀市法花

田中 豊成 参加者5名（会員4名）

トビ（3）、ノスリ（1）、キジバト（2）、アマツバメ（6）、
アオゲラ（1声のみ）、ヒバリ（3）、ツバメ（20）、コ
シアカツバメ（8）、セグロセキレイ（1）、ヒヨドリ（5）、
モズ（7）、ハシボソガラス（6）。計12種

秋の渡りの初期には、アマツバメやハリオアマ
ツバメが例年伊賀で観察されるが、今回はアマツ
バメ数羽が観察された。ツバメやコシアカツバメ
は法花の畑を盛んに飛び回って虫達を捕まえて
いる様子であった。モズは己のテリトリーを主張
し、激しく鳴いていた。

● 金剛川・櫛田川河口探鳥会

2009年9月6日(日)9:00~11:00

金剛川・櫛田川河口

中西 章 中村 洋子 参加者30名(会員29名)
カイツブリ、カワウ、ゴイサギ、アマサギ、ダイ
サギ、チュウサギ、コサギ、アオサギ、マガモ、
カルガモ、ミサゴ、トビ、バン、シロチドリ、メ
ダイチドリ、ダイゼン、アオアシシギ、キアシシ
ギ、イソシギ、ソリハシシギ、チュウシャクシギ、
ウミネコ、キジバト、

ツバメ、ハクセキレイ、モズ、オオヨシキリ、セ
ッカ、スズメ、ムクドリ、ハシボソガラス、ハシ
ブトガラス。計32種

当日は、快晴・無風で絶好の探鳥会日和となっ
た。またこの日は、京都支部の支部報の取材など
県外から10名の参加者があり、大変な盛況とな
った。しかし、一番の目的であるシギチドリの
数・種類とも少なく、やや消化不良の探鳥会であ
った。

● 高松海岸探鳥会

2009年9月13日(日)10:00~11:45

三重郡川越町 高松海岸

高 和義 尾畑 玲子 参加者8名(会員7名)
カイツブリ(7)、カワウ(25)、ササゴイ(1)、ダイサ
ギ(12)、コサギ(6)、カルガモ(12+)、ミサゴ(4)、
トビ(1)、チョウゲンボウ(1)、キアシシギ(1)、イ
ソシギ(2)、ウミネコ(5)、ハクセキレイ(2)、ヒヨ
ドリ(4)、スズメ(3)、ハシボソガラス(27)。計16
種

同時に4羽のミサゴを視認、内1~2羽は海面
にダイビングしハンティングする所がみられ、一
同感激。カモメ類の大群は何処かに移動したのか、
ウミネコ5羽のみであった。

● 海蔵川探鳥会

2009年9月15日(火)9:40~12:00

四日市市西坂部町 海蔵川沿い

尾畑 玲子 高 和義 参加者11名(会員9名)
カイツブリ、カワウ、ゴイサギ、アマサギ、チュ
ウサギ、アオサギ、カルガモ、キジ、バン、キジ
バト、カワセミ、ツバメ、ハクセキレイ、セグロ
セキレイ、ヒヨドリ、モズ、カワラヒワ、スズメ、
ムクドリ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、コ

ジュケイ、ドバト。計23種

昨夜来の雨は開始前にピタッとやみ、暑さにも
苦しめられることなく鳥見を楽しめた。今シーズ
ン初めて、モズの高鳴きをほうほうで聞き、感激。
一方でチュウサギ、アマサギは南への移動が始ま
っている。ツバメともそろそろお別れである。

● 多度山探鳥会

2009年9月20日(日)9:00~12:30

桑名市多度町

米倉 静 安藤 宣朗 参加者12名(会員8名)
ミサゴ(1)、ハチクマ(8)、ノスリ(3)、サシバ(16)、
キジバト(3)、コゲラ(1)、ショウドウツバメ(1)、
ツバメ(14)、ヒヨドリ(6)、モズ(1)、メジロ(7)、
ハシブトガラス(3)、コジュケイ(1)、ドバト(2)。

計14種

初担当場所、見晴らしはよく一宮から中部空港
まで見える。10時くらいまで桑名市方面へ飛ぶ個
体が多かったが、11時くらいになると近くを飛ぶ
ようになる。黒色型のサシバが通る。別の一羽が
ハンティングの降下を見せる。ハチクマの幼鳥の
識別しやすい個体が通過した。さらにフナを持っ
たミサゴまで出るとは思わなかった。

PS>アサギマダラが2頭ヒラヒラと通る。

● 木曾岬干拓地探鳥会

2009年9月27日(日)9:00~12:00

弥富市 共催団体/愛知県野鳥保護連絡協議会

近藤 義孝 米倉 静 参加者15名(会員12名)

カイツブリ(8)、カワウ(200)、ダイサギ(20)、チュウ
サギ(50)、コサギ(5)、アオサギ(4)、カルガモ(10)、コ
ガモ(60)、ミサゴ(3)、サシバ(1)、チュウヒ(2)、チョウ
ゲンボウ(1)、キジ(1)、コチドリ(4)、クサシギ(3)、イ
ソシギ(4)、タシギ(1)、キジバト(15)、ヒバリ(10)、シ
ョウドウツバメ(50)、ツバメ(10)、ハクセキレイ(5)、
ヒヨドリ(7)、モズ(4)、ノビタキ(6)、イソヒヨドリ(1)、
セッカ(1)、メジロ(3)、ホオジロ(1)、カワラヒワ(5)、
スズメ(70)、ムクドリ(50)、ハシボソガラス(50)、ハ
シブトガラス(300)、ドバト(40)。計35種

秋の渡りシーズン、上空をサシバが通過し、畑
の杭にはノビタキが停まっていた。鍋田干拓地では
チョウゲンボウが現れ、木曾岬干拓地では今年
生まれたチュウヒの幼鳥が現れた。

しろちどり原稿募集

編集部では原稿を募集しています。鳥に関わるどのようなことでも結構です。

挿絵なども募集します。

締め切りは2010年1月15日です。

原稿は、編集担当 近藤義孝まで E-mail: fwhy4368@mb.infoweb.ne.jp

住所 〒511-0123 桑名市多度町北猪飼 521

チュウヒサミット2010 開催決定

2006年と2008年に開催されたチュウヒサミットが2010年7月18日(日)、名古屋市国際会議場にて開催されます。イギリスのSuffolkとMinsmereの保護区の管理担当でRSPB所属のAdam Rowlandsさんが基調講演されます。Minsmereからはじまった英国でのチュウヒの回復の歴史などについて、同時通訳で聞くことができます。詳しい日程などについては、開催が近づいてから本誌にてお知らせします。

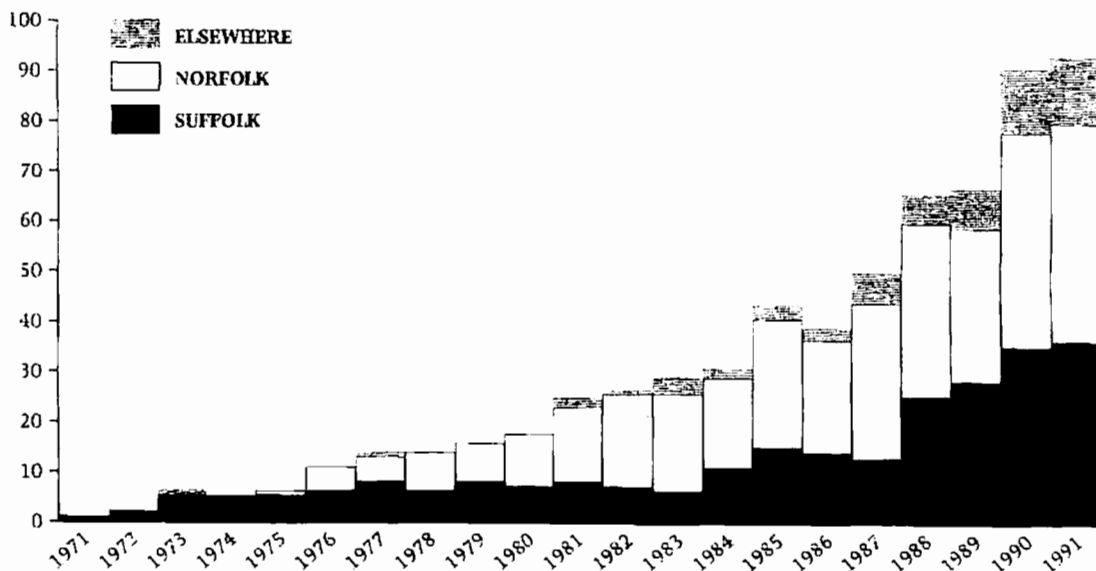
イギリスでのヨーロッパチュウヒの復活

イギリスではたった1つがいのチュウヒから3カ所の保護区で復活に成功しました。現在360羽以上になっているそうです。

下の図は Roger Clarke THE MARSH HARRIER p16 より

THE MARSH HARRIER

Fig. 1 Number of Marsh Harrier nests in Britain 1971-1991



臨時探鳥会のご案内

2009年秋、松阪市は風力発電計画でゆれています。白猪山に2つの会社がそれぞれ風力発電を建設するという前代未聞の計画が浮上しました。

旧飯南町にそびえる白猪山(819.7m)から高須ノ峰(798.0m)にかけて、株式会社ジャネックス(九州)が17基(1基2000kw)、クリーンエナジーファクトリー株式会社(北海道)が16基(1基2500kw)合わせて33基の風力発電施設の建設計画が進んでいます。

先日、CEFの環境影響評価準備書が公開されました。それによると、この地域には複数のクマタカが生息していることがわかり、県内でも希少な生態系が存在する地域であることが明らかになりました。クマタカは環境省レッドリストで絶滅危惧1B類に指定されており、開発等による影響で絶滅が心配されています。しかし、風車の設置場所の変更や白色閃光等の設置、風車間の距離の確保で影響を回避するとしています。また、渡り鳥調査でも1シーズンのみの観察で、ワシタカ類の個体数が少ないから主要な渡りルートではないと結論づけています。

風力発電は環境にやさしいといわれて久しいですが本当にそうなのか、現地見学を兼ねていっしょに考えてみませんか。秋が深まってバードウォッチングには最適の時期です。運がよければクマタカに出会うことができるかもしれません。多数のご参加、お待ちしております。

- 日時 2009年11月23日(月・祝)9:00~12:00
- 集合 9:00 松阪農協 ふれあいの里つじわら 駐車場
(現地では駐車スペースに限りがあるため、台数を減らします。集合後、乗り合わせて現地へ移動します)
- 交通 松阪市内から阪内川沿いの国道166号線を西へ進む。伊勢自動車高架をくぐり、約2kにある辻原交差点を右折。辻原橋を渡りすぐ前の農協。
- 場所 松阪市辻原町・袖原町(うきさとむら)
- 内容 白猪山麓をバードウォッチングしながら散策
- 持ち物 雨具、防寒着、温かい飲み物
- 参加 事前申し込み不要・参加費無料
- 備考 小雨決行 登山はしませんが、底のしっかりした靴をお願いします。
現地にトイレはありません。
- 問い合わせ 西村 090-1566-6010



湖北バスツアー

オオヒシクイ、コハクチョウ、オオワシなど三重県ではなかなかみられない鳥を観察しよう。

日時 平成21年12月12日(土) 雨天決行
場所 滋賀県湖北町

行程 宇治山田駅(西口) 6:30
松阪駅(東口) 7:00
津駅(西口) 7:30
桑名駅(東口) 8:30

↓
琵琶湖水鳥湿地センター、山本山など 10:00 ~ 14:00頃

*時間は交通事情等により変わることがあります。

参加 40名(先着順)
三重県支部会員及び家族会員
又はこれを機会に三重県支部会員になる人も可

参加費 無料

申し込み メールか葉書で、氏名・住所・連絡先・電話(できれば携帯も)・バス乗り場を明記して申し込んで下さい。

メール s-nishimura@miedoren.or.jp

葉書 〒515-1501

松阪市飯高町下滝野885-7 西村四郎

TEL: 0598(46)0857 携帯 090(2682)5338

申し込みを受けた場合は必ず連絡をしますので、1週間たっても連絡がない場合は再度電話で連絡をお願いします。

定員に達した場合はお断りすることがあります。了承下さい。

その他 雨具、昼食など各自で用意をお願いします。
琵琶湖水鳥湿地センターの直ぐ横には「道の駅」があり、食事は可能ですが、混み具合など不透明なため持参するのが望ましいです。

編集後記

地球温暖化防止のため鳩山首相は二酸化炭素排出量を25%削減する方針を打ち出しました。物が売れない中でもハイブリッドカーは売れているようです。太陽光発電の買い取りも始まりました。日本中のどの世帯でもハイブリッドカーが買え、太陽光発電を屋根につけられるように目指すべきなのでしょうが……

湖北バスツアーの案内、白猪山臨時探鳥会の案内など確認をよろしくお願いします。

Y.K.

しろちどり 62号

2009年11月14日発行

題字:濱田 稔

表紙絵:北川和則

カット:坂元伸治

編集:近藤義孝

511-0123 桑名市多度町北猪飼521

発行所:日本野鳥の会三重県支部

平井正志方

514-2325 津市安濃町田端上野910-49

http://www.geocities.jp/sirochidori_mie/

印刷:東海出版(有)

510-0885 四日市市日永4丁目5-48